

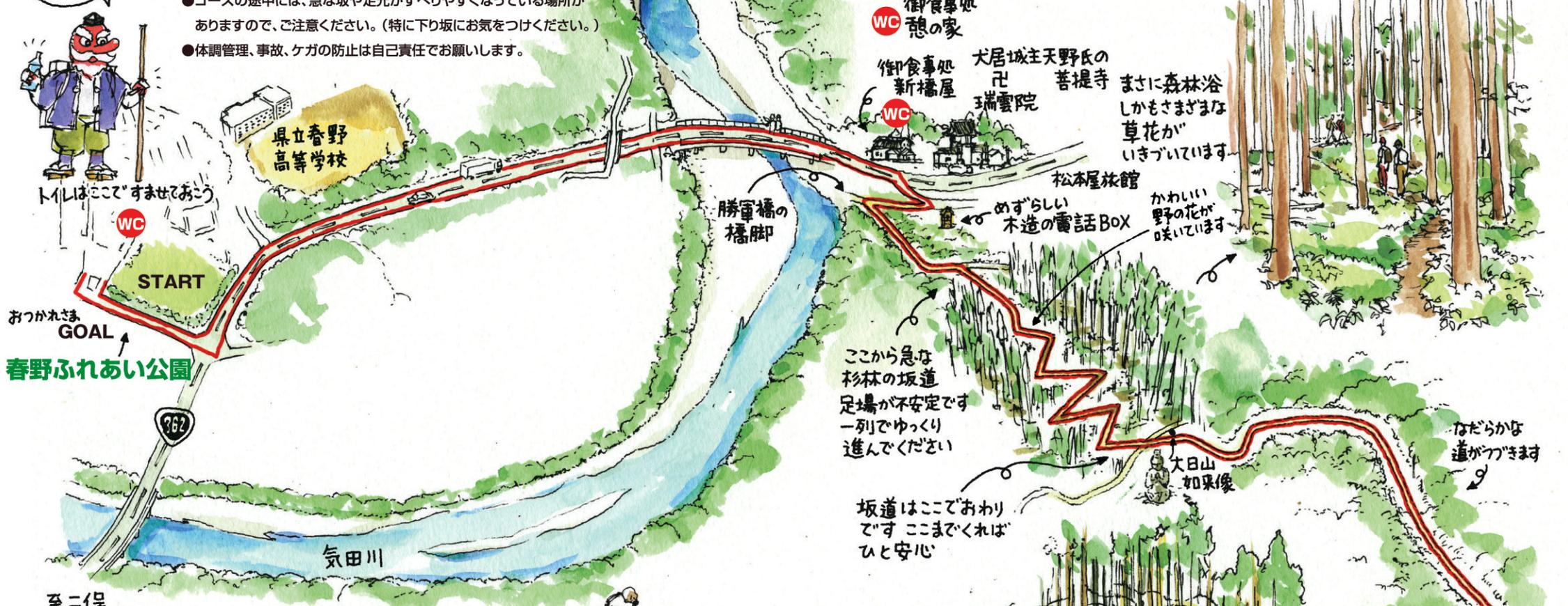
はるの山城見学ウォーキング

「堀之内城山」コース図 所要時間:約2時間

注意事項をよく読んでおきましょう

注意事項

- 体調には十分に注意し、体調不良の場合には、無理をしないでください。
- 公道を歩く場合や道路を横断する場合には、交通ルールを守りましょう。
- コースの途中には、急な坂や足元がすべりやすくなっている場所がありますので、ご注意ください。(特に下り坂にお気をつけください。)
- 体調管理、事故、ケガの防止は自己責任をお願いします。



堀之内城山城跡

堀之内城山城跡は犬居城跡の東南約1.5kmの山頂に位置します。森から犬居に至る秋葉街道に接しており、二俣に続く街道の眺望も開けています。山頂の本曲輪を中心に、東南方向に伸びる尾根づたいに曲輪や堀切、豎堀などがみられます。2010年の発掘調査では、数多くの出土遺物が出土しました。出土遺物から、この城の使用時期が、徳川家康の犬居城攻めの期間(16世紀後半)と捉えてよいことが確認できます。

- 曲輪(くるわ)…城の内部の区切られた区域を曲輪(郭・廓)または丸という本曲輪、天守曲輪、内曲輪、外曲輪、井戸曲輪、水の手曲輪、帯曲輪、腰曲輪、山里曲輪、本丸、二の丸、出丸、西の丸、詰丸、大阪城真田丸など。
- 堀切(ほりきり)…丘陵の一部を断ち切って作った堀で、山城防衛の重要施設
- 土橋(どばし)…堀あるいは堀切の一部を掘り残して橋としたものをいう
- 土塁(どるい)…土を掘って堀を作り、その土を掻き上げ、盛り上げたものをいう犬走り・堀・武者走り・合坂(雁木)



【堀切】
山城にも堀をつくって敵がすぐせめてこれなくしたあとのこっています

堀之内城山城跡

リ帰りは来たコースをそのまま戻ります